



1 第5号集石土壇半截状況  
(南より)



2 第5号集石土壇完掘状況  
(北西より)



3 第5号集石土壇掘り方  
(南より)

図版10



1 第1号土壙遺物出土状況（西より）



2 第1号土壙完掘状況（北東より）



3 第2号土壙遺物出土状況（西より）



4 第3号土壙完掘状況（東より）



5 第4号土壙完掘状況（東より）



6 第5号土壙完掘状況（東より）



7 第6号土壙遺物出土状況（南より）



8 第7号土壙完掘状況（南東より）



1 第8号土壙完掘状況（北より）



2 第9・10・11号土壙完掘状況（南西より）



3 第12号土壙遺物出土状況（南より）



4 第13号土壙遺物出土状況（南東より）



5 第14号土壙完掘状況（北西より）



6 第16号土壙遺物出土状況（南より）



7 第17・18号土壙完掘状況（南より）



8 第19号土壙完掘状況（南より）

図版12

1 第1号掘立柱建物跡  
完掘状況（南西より）



2 第2号掘立柱建物跡  
完掘状況（南西より）



3 第1・2号溝跡完掘状況  
（東より）





1 第6号土壙出土遺物 (第37図4)



2 第6号土壙出土遺物 (第37図5)



3 第6号土壙出土遺物 (第37図6)



4 第6号土壙出土遺物 (第37図7)



5 第6号土壙出土遺物 (第37図8)



6 グリッド出土遺物 (第42図1)



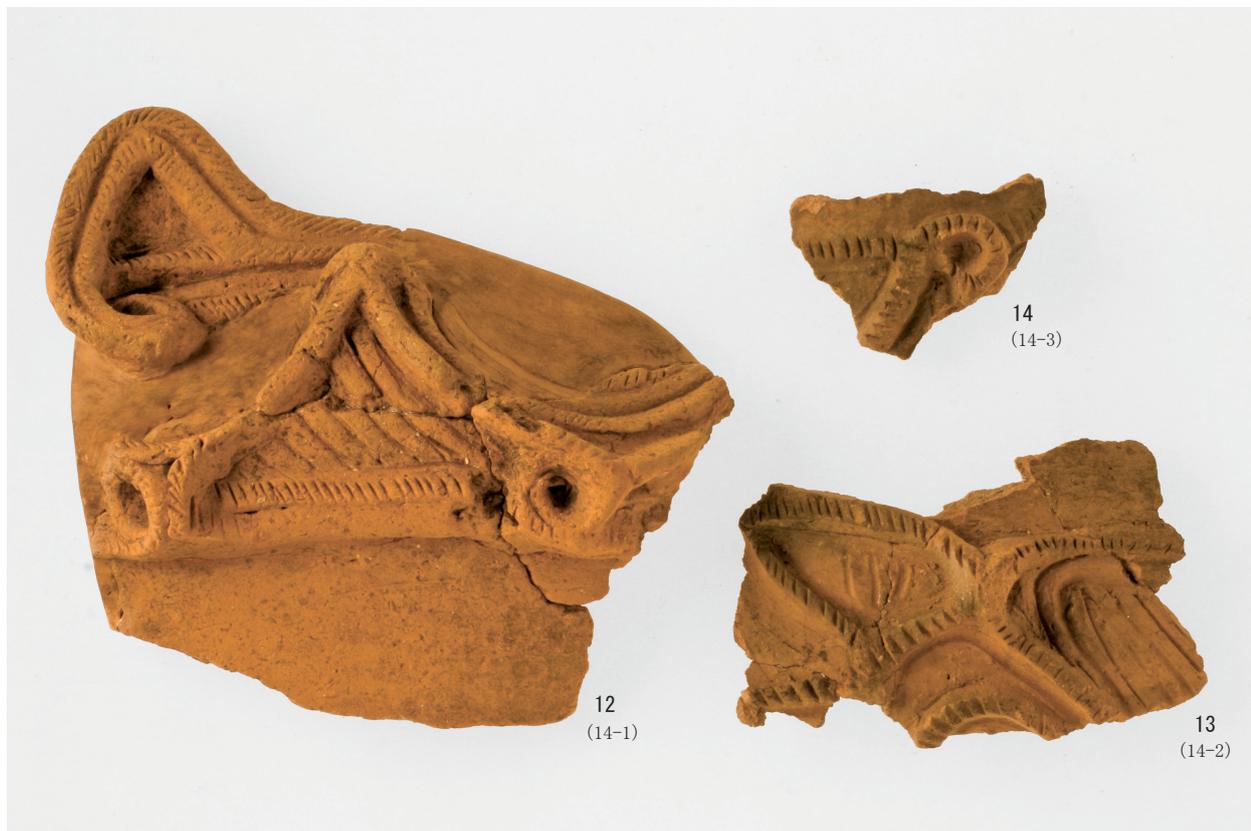
1 第1号住居跡出土遺物(1)



2 第1号住居跡出土遺物(2)



1 第2号住居跡出土遺物



2 第4号住居跡出土遺物



1 第5・6号住居跡出土遺物



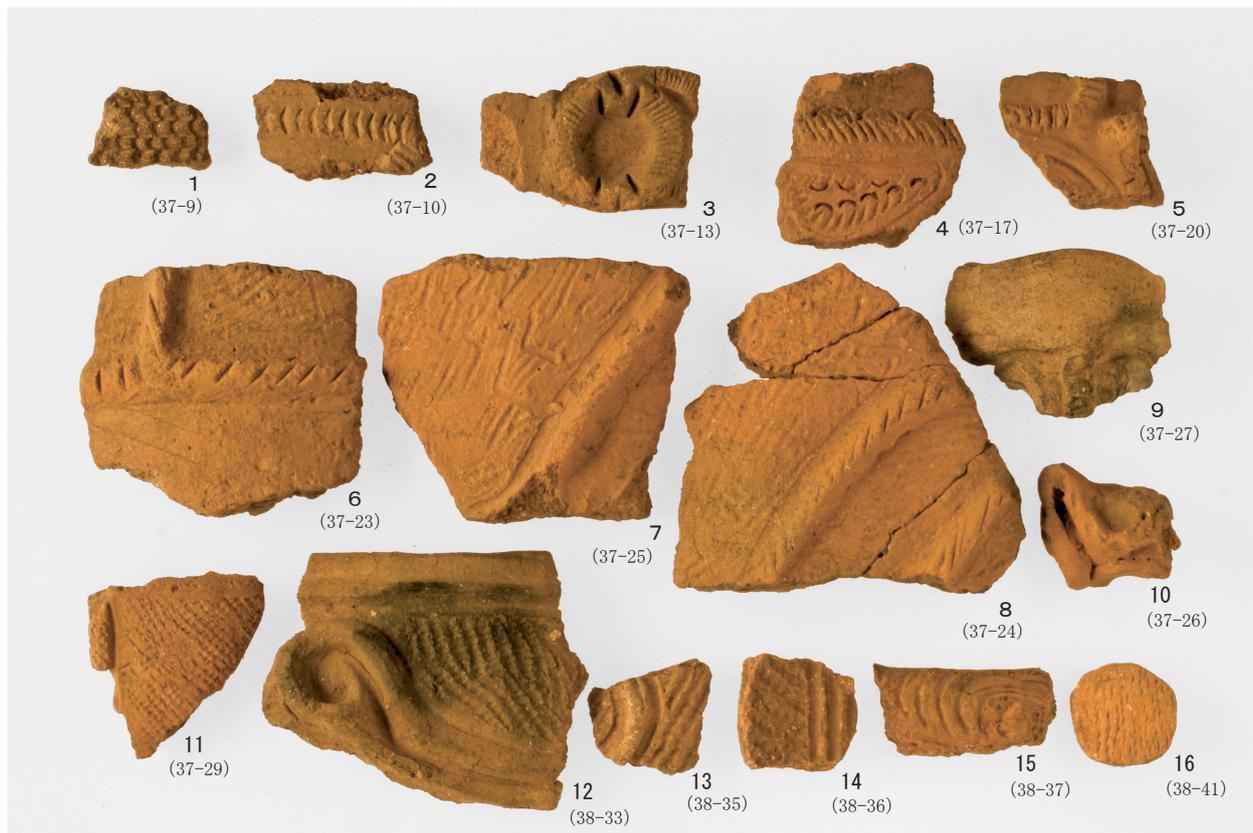
2 第1～5号集石土坑出土遺物（1）



1 第1～5号集石土壙出土遺物(2)



2 土壙出土遺物(1)



1 土壤出土遺物 (2)



2 土壤出土遺物 (3)



1 土壙出土遺物 (4)



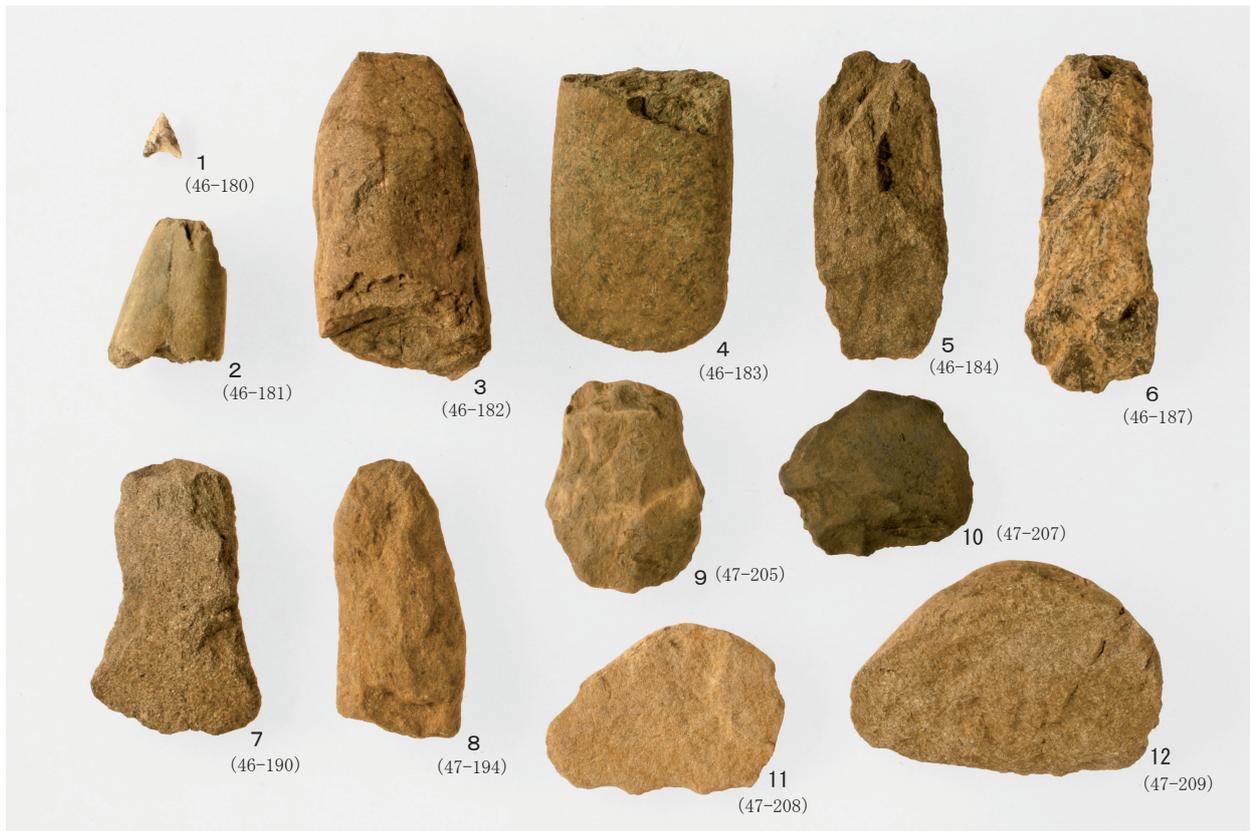
2 グリッド出土遺物 (1)



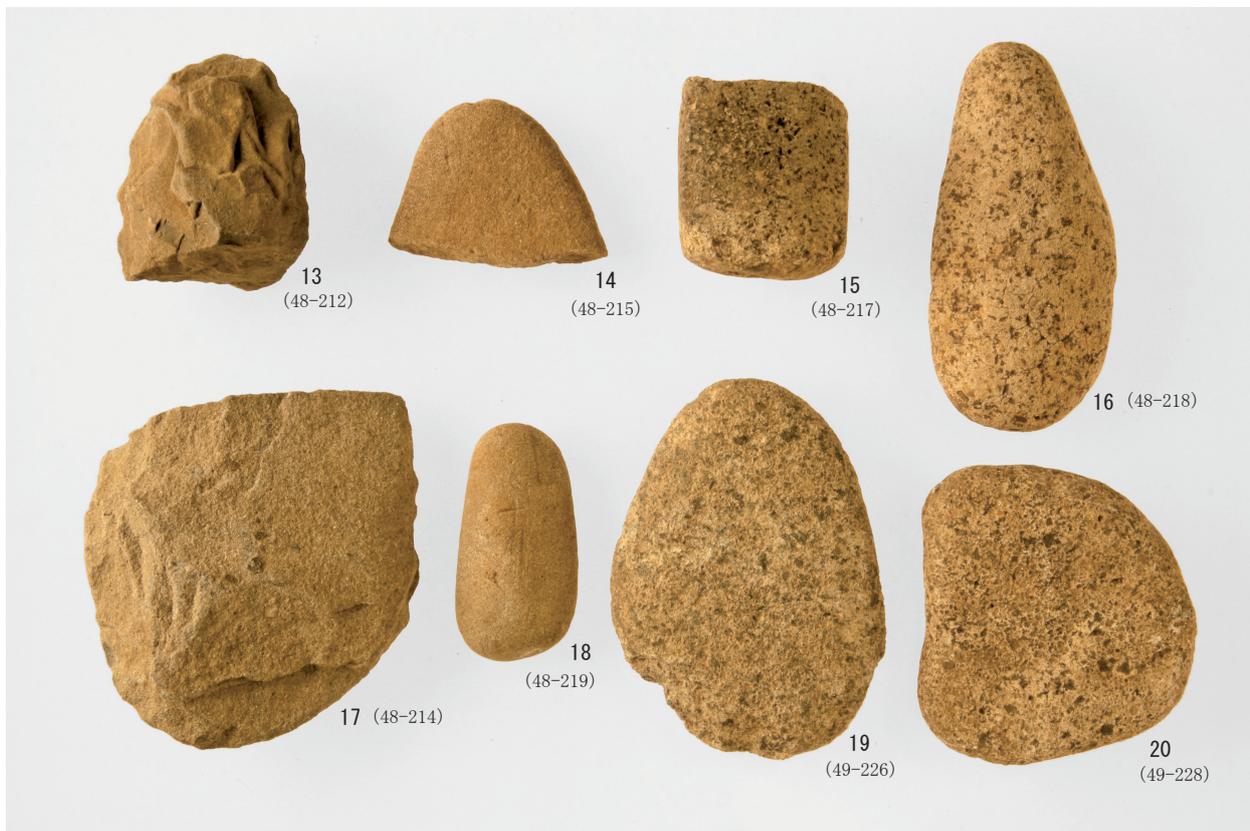
1 グリッド出土遺物 (2)



2 グリッド出土遺物 (3)



1 グリッド出土遺物 (4)



2 グリッド出土遺物 (5)



1 グリッド出土遺物 (6)



2 近世の遺物

# 報告書抄録

ふりがな	むじなつか							
書名	むじな塚遺跡							
副書名	スクーデリアハウス株式会社共同住宅建設関係埋蔵文化財発掘調査報告							
巻次								
シリーズ名	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書							
シリーズ番号	第364集							
著者氏名	松本 美佐子							
編集機関	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団							
所在地	〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台四丁目4番地1 TEL 0493-39-3955							
発行年月日	西暦2009(平成21)年9月30日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査原因
		市町村	遺跡					
ふりがな つかいせき むじな塚遺跡	さいたまけん 埼玉県 おおさとぐんよりいまち 大里郡寄居町 おおあざとみだ 大字富田 あざにしほら ばんち 字西原3536番地	11408	040	36° 06' 31"	139° 13' 14"	20080714 ～ 20081031	2,207	共同住宅 建設
	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
	集落跡	縄文中期	竪穴住居跡 6軒 集石土壇 5基 掘立建物跡 2棟 土壇 19基	縄文土器・石器				
	近世	溝跡	2条	陶磁器・土器・砥石				
要約	<p>むじな塚遺跡は、荒川右岸の河岸段丘上に立地する。荒川が外秩父山地から関東平野に流れ出た地点から約5km下流である。むじな塚遺跡がのる河岸段丘は、標高116m前後で荒川によって形成された段丘の上位面にあたる。遺跡の周辺は、東側と西側をそれぞれ荒川に注ぐ小河川によって開析され、周囲から画され北東方向に張り出した地形となっている。</p> <p>これまでに9次にわたる発掘調査が実施され、縄文時代前期から中期にかけてと古墳時代後期の集落が確認されている。今回の調査では縄文時代中期、勝坂期後半の住居跡が6軒検出された。削平のためか、ほとんどの住居跡で掘り込みを確認できなかったため、出土遺物は少ない。しかし、今回の調査の成果として、遺跡西端部にも集落が広がっていることが確認できた。また、住居に囲まれた中央部では、集石土壇が5基発見された。特に、第5号集石土壇は、深い掘り込みの底部に扁平な砂岩を設置し、それを囲むように礫を配置していた。それらの礫は被熱し、赤く変色していることから、繰り返し使用されていたことが考えられる。</p> <p>縄文時代の遺構の他に近世の溝跡が2条検出された。こちらにも掘り込みが浅く、遺物はわずかであった。</p>							

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第364集

## むじな塚遺跡

スクーデリアハウス株式会社共同住宅建設関係埋蔵文化財発掘調査報告

平成21年9月15日 印刷

平成21年9月30日 刊行

発行／財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

〒369-0108 熊谷市船木台四丁目4番地1

0493(39)3955

<http://www.saimaibun.or.jp>

印刷／山進社印刷株式会社